

実践研修報告

A班

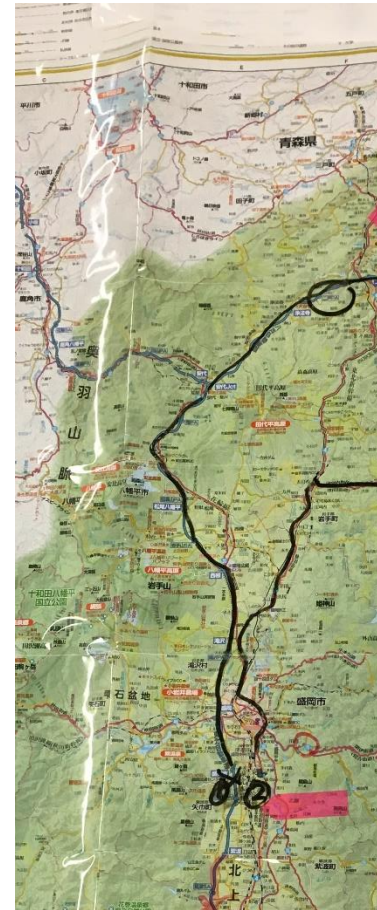
(エーロジ班)



1.ロジスティクスの基礎

①派遣目的地までの円滑な到達

- ・ 地図の活用
- ・ カーナビの利用
- ・ 道路情報の収集(ラジオの活用)
- ・ パンクトラブルにおける迅速な対応



②衣食住の確保

- ・ 各々の事前準備
- ・ 施設の方との交渉で、活動できる部屋と食事のスペース
本部立ち上げに十分な設備であり、活動に集中できた
- ・ 大久保さんの的確な指導によるテント建て。



2.拠点での本部立ち上げと本部内におけるロジスティクスの役割

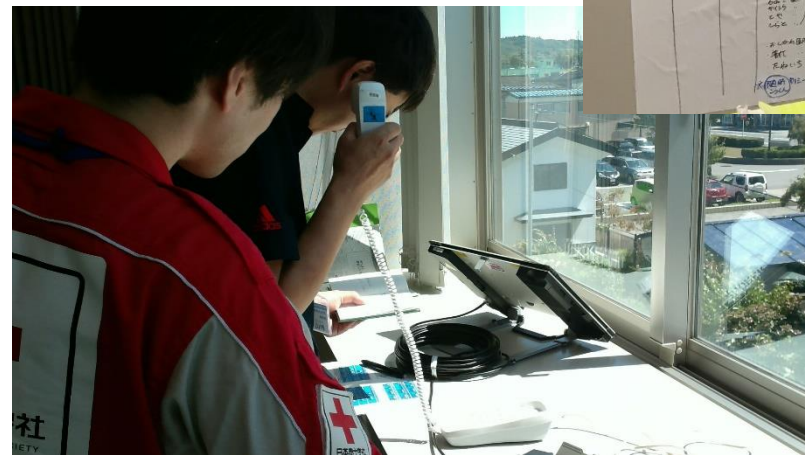
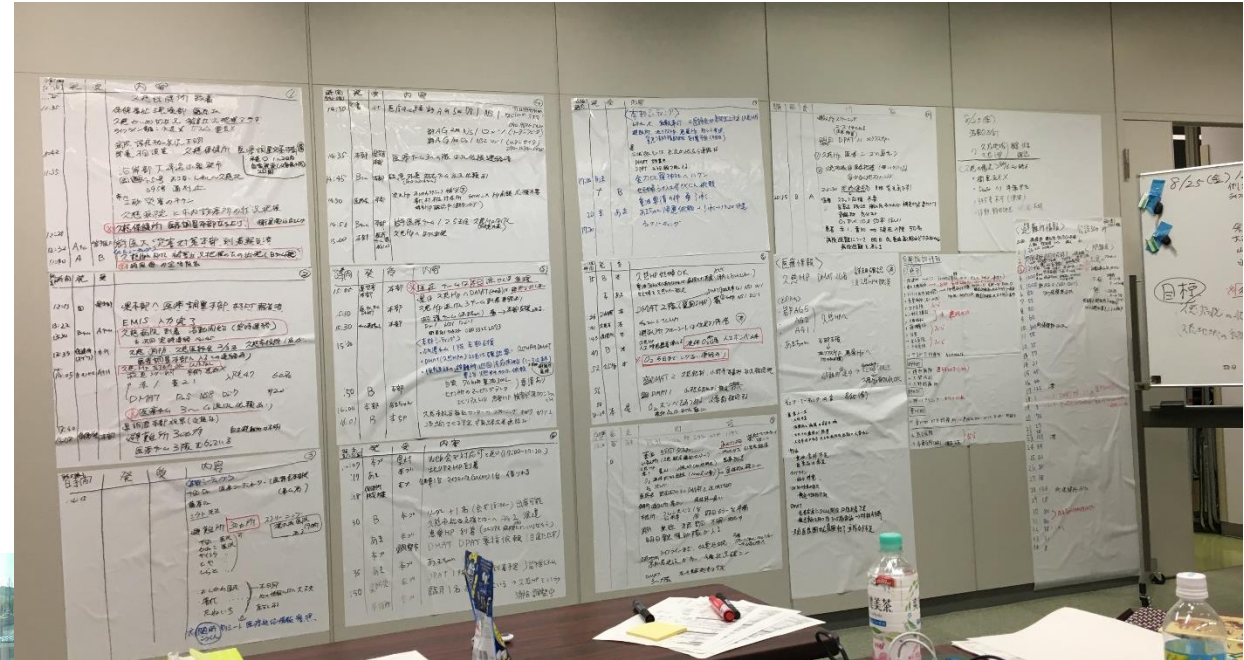
①拠点でのカウンターパートとのコミュニケーション

- ・ クラスターミーティングを定時で行った。

②情報伝達手段の構築および通信訓練

- ・ 衛星電話の2台体制での運用。

③情報の集約と活用



3. 多職種間の連携

① 各組織特有の手法などについて

- ・個別交渉している



② 多組織間の協働方法の検討

- ・クラスターミーティングを定時で行った。

< 医師会・保健所・市役所・消防 >



災害本部の活動 -達成-

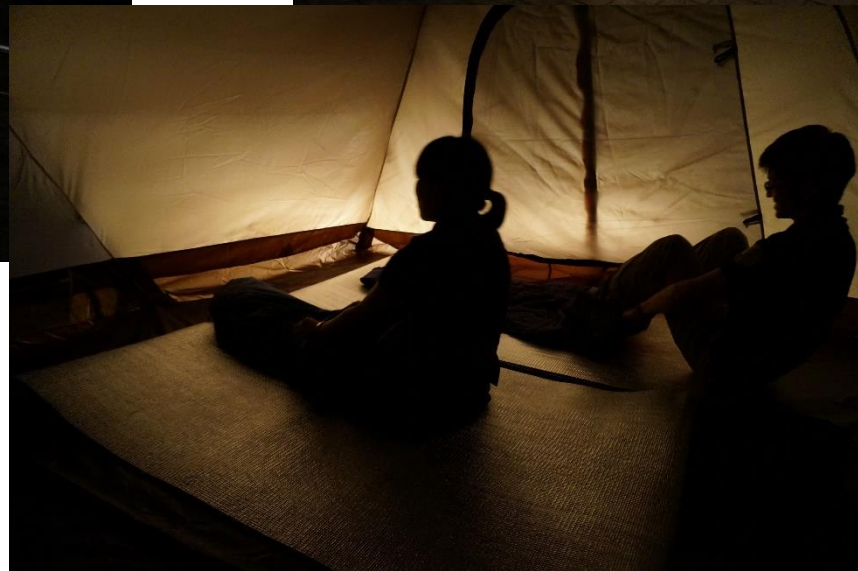
- 1) 医療ニーズの高い場所・重要性の高い・被害大きい場所に、人的及び物的資源の提供ができた。
- 2) 各組織の行動状況把握において、連絡を潤滑に進めらニーズ確認とコミュニケーションがうまくいった。
- 3) 同じ医療圏のB班(WithB)と定期連絡を実施し密な情報交換が行えた。

活動の課題

- 1) 休憩時間がなかった。
- 2) 本部支援の要請を行ってもよかった。
- 3) 現場ニーズに対して、具体的な数で要求できたらよかった。
- 4) チームの管理が後手に回った
(食事の準備・テント張り・チーム全体をロジスティックスできなかった)

研修で学んだこと

- 他職種間での定時のクラスターミーティングは有効であった。
- 地域の災害担当者・計画を早い段階で利用する。
- チームの次を読む行動を客観的に見れるロジが必要。



4日間ありがとうございました。

